

「防貧」で人間性回復を

加山久夫(松沢資料館館長)

つながついてきた

「賀川的人物像は？」

「今で言うところのマルチ人間で、一つの分野を極めて一生を終えたのとは違う。知的関心のおもな人だったが、常に実践と結びついていた。日本人の知識人としてユニークな存在だった。」

「賀川はさまざまな運動や事業を行ったが、慈善家の救済から、スラムに落ち込んでくる前に貧困を防ぐ『防貧』の思想へと発展した。貧困から解放するためにどうしたらいいかと考えた。」

「一貫しているのは相互助と非暴力。賀川の人格的な社会主義やキリスト教社会主義は議会制民主主義を中心とした社会改良と実践だった。」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「協同組合は、賀川がかかわった多くの運動の一つというより、全体的、包括的なものだった。賀川の協同組合運動は、単に食の安全・安心の問題などに限定されるのではなく、平和や社会正義が崩壊し、資本主義も行き詰まりつつある。新しく何かを模索しなければならぬ」とす。

「賀川が考えた世界連邦や世界政府は冷戦期ならは夢のまた夢だったろうが、欧州連合(EU)ができた今、現実の問題となってきた。賀川の評価は変わらざる可能性がある。」

「消費生活協同組合法施行のついでに、あじさいする1950年代(賀川豊彦記念館提供)」

「賀川豊彦の先見性、洞察力はたいしたものだと思う」と語る加山久夫さん(東京都世田谷区)の賀川豊彦記念松沢資料館

非暴力貫き協同組合へ

「賀川豊彦の先見性、洞察力はたいしたものだと思う」と語る加山久夫さん(東京都世田谷区)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が理想としたのは経済格差がなく、優劣がない共存共栄。その実践を包括的に表現し具現化していくものとして協同組合を選んだ。」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「協同組合は、賀川がかかわった多くの運動の一つというより、全体的、包括的なものだった。賀川の協同組合運動は、単に食の安全・安心の問題などに限定されるのではなく、平和や社会正義が崩壊し、資本主義も行き詰まりつつある。新しく何かを模索しなければならぬ」とす。

「賀川が考えた世界連邦や世界政府は冷戦期ならは夢のまた夢だったろうが、欧州連合(EU)ができた今、現実の問題となってきた。賀川の評価は変わらざる可能性がある。」

「消費生活協同組合法施行のついでに、あじさいする1950年代(賀川豊彦記念館提供)」



加山久夫(松沢資料館館長)

「賀川が理想としたのは経済格差がなく、優劣がない共存共栄。その実践を包括的に表現し具現化していくものとして協同組合を選んだ。」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「協同組合は、賀川がかかわった多くの運動の一つというより、全体的、包括的なものだった。賀川の協同組合運動は、単に食の安全・安心の問題などに限定されるのではなく、平和や社会正義が崩壊し、資本主義も行き詰まりつつある。新しく何かを模索しなければならぬ」とす。

「賀川が考えた世界連邦や世界政府は冷戦期ならは夢のまた夢だったろうが、欧州連合(EU)ができた今、現実の問題となってきた。賀川の評価は変わらざる可能性がある。」

「消費生活協同組合法施行のついでに、あじさいする1950年代(賀川豊彦記念館提供)」

震災で生きた思い

西義人(コープこうべ顧問)

「コープこうべは？」

「賀川はコープこうべの前身の神戸購買組合も購買組合も、ともに立ち上げのときに思想的に指導した人で、コープこうべがなされたかと言えは、賀川の考えでできたということになる。創業の父だ。」

「賀川はコープこうべの前身の神戸購買組合も購買組合も、ともに立ち上げのときに思想的に指導した人で、コープこうべがなされたかと言えは、賀川の考えでできたということになる。創業の父だ。」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

「賀川が協同組合に求めたものは？」

賀川が父、母は組合員

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館



賀川豊彦(神戸市)

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

「賀川が父、母は組合員」と語る西義人さん(神戸市)の賀川豊彦記念松沢資料館

大学、

こうべ、日本生協連を創立

生協運動に大きな足跡

「およそ運動と名のつくものの大部分は、賀川豊彦に源を発していると言っても、決して言いすぎではない。シャーナリスト大宅壮一がこう評したように、賀川豊彦が関係した事業や活動、運動は多岐にわたる。その中でも日本の生協運動の歴史に残した足跡はあまにも大きい。」

神戸、灘を設立

賀川が最初に生協設立を企図したのは、第1次世界大戦後の経済混乱による物価暴騰に市民が苦しむ、大正デモクラシーの大きな波が起きていた時代だった。

1919年に、英国の「ロッチデール公正開拓者組合」をモデルにしたとされる大阪の「購買組合共益社」を設立。組合長も務めたが、経営的には苦しい状況が続いたと伝えられている。



「東京学生消費組合」の店舗1102(6年5月)賀川豊彦記念松沢資料館提供

明治末期から豊彦記念松沢資料館提供

